

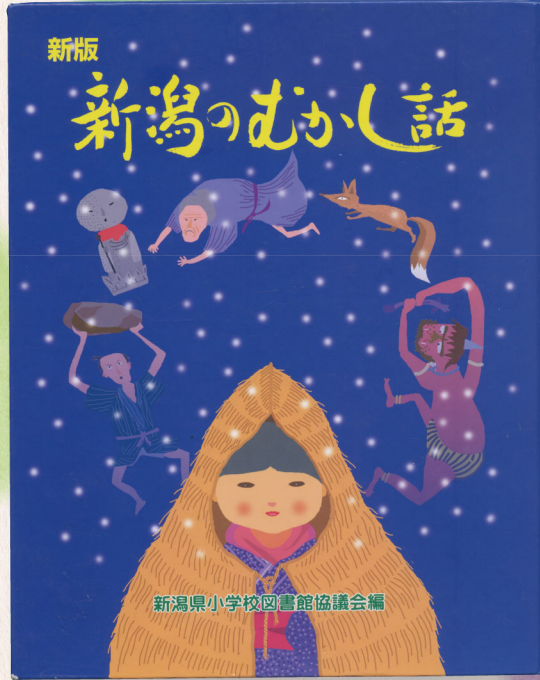
# 新版 新潟のむかし話

2000年発行/発行・取扱者：新潟県学校教育用品株式会社  
現在は絶版(『再編版 新潟のむかし話』(2019)のみ入手可能)

大人の心にこそお贈りしたい  
新潟のむかし話の豊かな世界。  
WEBサイト「悠久城風の間」で  
語り部・楯ようこによる  
朗読動画と解説ブログにて  
ぜひお楽しみください。



WEBサイト「悠久城風の間」  
<http://yuukyuyuyou.starfree.jp/index.html>



楯ようこ  
プロフィール

教員の頃からカウンセリングに関心を  
持ち、2002年から精神科医。  
2017年、朗読家加藤博久氏に師事し、  
地域で紙芝居活動開始。  
語り部楯ようこ誕生。  
2019年、悠久城風の間HP開設。  
ブログでは作品鑑賞とともに人生を  
語る。  
2020年「新潟のむかし話」の中で  
“いとーしげだ”に出会い、なつかしさに  
惹かれ、朗読を順次公開。

## 心をうたれてじーんとする話

### 「鳥のみじさま」

じさまはちっちゃい鳥と遊んで。鳥はじさまに呑み込まれても慌てず、じさまの腹の中で暮らすことにした…



ブログ 鳥のみじさまのはらの歌声のように?

鳥のみじさまのはらの中に暮らす鳥さんの歌声がうらやましい。ウイルスは私たちの細胞の中で勝手に増殖。文句言いたくても唾飛ばすこともできないし。



### 「団子ころころ」

ポイントは粉をよくこねること。力を入れて長時間こねないと、ころころと転がるおいしい団子はできないよ。



ブログ 転がる団子 押し込む団子

団子が転がっていくの待ってられないよね。富にありつけない!ウイルスにやられる?とりあえず人の口に無理やり団子を押し込むのはやめておこう。



### 「ホトトギスと兄弟」

ありふれた日常に潜む畏? 昼夜なくホトトギスが鳴き続けるということは、畏はいたるところにある?



ブログ 不如帰/そうだ原点に帰ろう

弟と暮らしてたあの頃に帰ればいいけど。命が尽きれば、時を巻き戻すことはできないけれど、生きているあなたなら、時を巻き戻して考えることができるよね…



## こわくてふるえる話

### 「食わず嫁さ」

腹が減ってたまらんから、めんこい女に化けて、村に行くと、とろそうな男の家に入ったんじゃ…



ブログ 鬼婆はきれいな女になりたがる?

旅人を食べるのも大仕事。待っていても、獲物は来ない。きれいな女になって、大口を隠してごはん食べていくこと考えたほうが利口よね。



### 「三枚のお札」

小僧は、ほっぺやくりくり頭を山姥のなあが舌で舐められても、絶望しなかった。必死さゆえに道が開けた…



ブログ 都会のトイレに三枚のお札はあるか?

山姥のいい点はその恐ろしさが一目で捉えられる点である。ところがウイルスは細かい粒子で目に見えない。知らないうちに人々の身体に忍び込み、都市も浸食する…



### 「化け猫退治」

おら、ネズミよりうんまいのは鶏だってわかってきた。そんで鶏よりもっとうんまいのは、ばあさんだったぞ。



ブログ 化け猫の生成

猫はどこから化け猫になるのか? 小さな憎しみや欲望、まがまがしさが積み重なっていつか大爆発になる? 危機的状況で爆発する?



## おかしくておなかをかかえる話

### 「旅学問」

wikipedia見て、何でもわかったような気になったりするけど、やっぱり実際の体験よね。あんや、いい旅を!



**ブログ** 伝わらない意味 つながらない人

物事の面を見ているつもりで点を見ているだけかもしれない。点を見てその裏側まで全部見通すことができればいいが、外れるほうがはるかに多い...



### 「ネズミ経」

ばばさにとって大事なことは、じじさにお経をあげることだったんだね。ばばさは、満ち足りていて幸せそうだ。



**ブログ** ありがたやネズミ経

お経でじじさに語りかけることができた。ネズミ経を教えてもらってよかったね。ネズミも人も同じ。ネズミ経はやさしい言葉で人生を語っている。



### 「屁っこき嫁さ」

嫁は、きれいな女ごでしかも屁はでっこい。嫁たちのたくましさ、この地でのちを繋いできたのだろう。



**ブログ** 放屁力と嫁への敬意

屁っこき嫁の放屁パワー!力がなくては生きていけない。ウイルスも至る所にいる中を生き延びるために、寛容やおおらかさ、たくましさを!



## 不思議さにひきこまれる話

### 「青竹三本と米一升」

運がないときは?それは運がないのだ。それはどうやら、生まれるときに山の神さんが決めるらしい。



**ブログ** 山の神の仕事は世の資源の平準化?

富の偏在、人口の偏在...でも人の欲望のまま、どんどん広がりが続けるなんてことないでしょうね、地球上では、昔は山の神さんがうまく塩梅。今はウイルスが...



### 「はなたれ小僧」

じさとばさは、いい暮らしの元が、はなたれにあることを忘れてた。さあ、よだれ・はなたれ力を高めておこう。



**ブログ** 今こそ、よだれ力・はなたれ力

何が一番大切なものなの?ごちそう?大きな家?いい着物?物ではなくてそれを生み出す力。それはどこからくるの?実は、よだれと、はなたれなんだ。



### 「見るなの花倉」

大嵐でほら穴に逃げ込んだ木こり。眠り込んで夢の中。器量よしの娘を嫁にし、倉の中には月ごとの美しい花。



**ブログ** いつまでも花倉に?

夢か、まことか?ここはどこ?わたしは何者?わたしはどこにいるの?いないの?あの花倉はどこにあるの?



## かわいそうで涙がでそうな話

### 「ばば皮」

今は、身をひそめてチャンスを待つのだ。ばば皮の中で、若く美しい肉体が賢さ、強さを得るまで。



**ブログ** いとーしげだ...

女の子を勇気づけ、自信をもたせるのにこれほど効果的な言葉はないだろう。愛されていると信じられることが、その後の人生を堅実に築くことに役立っていく。



### 「人魚の松」

そこまで恋させてしまう宗吉の魅力!! わたしも宗吉の歌声に聞きほれ、台本を取り落とししてしまった...



**ブログ** 海辺の松は何を見る?

あなたの愛が受け入れられなかったら、あなたの思いはどこに行くでしょう?遠い星まで行くと地上の宗吉が見えなくなる。気にならない?じゃあ、海辺の木になるわ。



### 「鶴の恩がえし」

傷ついたあの日のわたしをやさしく抱きしめてくれたひとだから...というのは美しい物語だけれど...



**ブログ** 鶴女房、奉仕し続けること?

男を食い尽くす鬼婆タイプと、わが身を削って尽くし続ける鶴女房タイプ。どちらがいい?自分が食べられるより、食べる方がいいと思うけど。世の中いろいろよね。



## とんちとちえでうーんとうなる話

### 「木のまた年」

国の定めと肉親の情との間で苦しむ息子。ばあさは、ずいぶんあつけらかんとしている。たいしたものだ。



**ブログ** 木のまた vs. 槽山

冬。雪が降って、けものたちを眠らせてほしい。山に行ったらばあたちも静かに眠らせてほしい。真っ白に雪に覆われた世界から、また新しく命が芽吹くのだから...



### 「ふうふうとんとんいいかん」

おはぎや、団子や、おこわ、餅、甘酒とでてきて、小僧さんでなくても涎が出てきてしまいます。



**ブログ** 食い意地の攻防

お彼岸にはおはぎ。お店にもいっぱい出ているけど、いつの間にか小さくなって上品に。小僧さんが好きなのは、もっと大きくて、あんこがたっぷりのおはぎよね?



### 「団三郎ムジナとお三ツネの化け比べ」

お三ツネの見事な嫁入り行列。着飾ってツンとすまして馬に揺られるお三。ごうぎにいとしげでかっこいい。



**ブログ** お三はただの飯炊き女ではなさそう...

キツネのお三って、お三どんしていないのにお三どん?でも、毎日お三どんしていたら、お三の魅力は生まれなかったかも。あなたはどいう?化ける時間あるの?

